

トランスポーターに関する生有研フォーラムを開催しました。(平成19年8月31日)

楠本所長のあいさつ、「分子生物学を中心とした生命科学の発展と機器の進歩を反映して、分子量の比較的小さい有機化合物から、それらを認識する受容体やトランスポーターなどのタンパク質分子までをターゲットに、分子、分子集団の物質レベルから、細胞、生物個体までの実際の生命現象のレベルまでの研究を展開しています。」の様に、今回はトランスポーターを共通課題として、植物のミネラルトランスポーター・アミノ酸トランスポーター・トランスポーターの構造解析の3つの分野でご活躍の6名の先生方をお招きし、この分野を研究している大学生・院生約30名の参加者とともに下記のプログラムで行いました。ノミネーション(懇親会)でも先生方の素晴らしい研究内容とユーモアあふれるトークのおかげさまで研究と人の価値ある楽しい交流を持つことができました。

小分子を運ぶトランスポーター：機能制御と機構解明に向けて

2007年8月31日(金)

サントリー研究センター大会議室にて

プログラム

- 10:00-10:05 オープニング(楠本所長)
 Session 1 植物のミネラルトランスポーター (座長:岩下 孝)
 10:05-10:30 村田 佳子 (サントリー生有研)
 オオムギの根に特異的なムネゲ酸鉄錯体トランスポーターの解析
 10:30-11:15 馬 建鋒 (岡山大学)
 植物のケイ素トランスポーター
 11:15-12:00 藤原 徹 (東大農)
 植物のホウ素トランスポーター
 12:00-13:30 昼食
 Session 2 アミノ酸トランスポーター (座長:南方 宏之)
 13:30-13:55 島本 啓子 (サントリー生有研)
 グルタミン酸トランスポーターの機能と構造解明に向けた分子プローブの創製
 13:55-14:40 金井 好克 (杏林大医)
 ヘテロ二量体型アミノ酸トランスポーター:その分子機構と病態
 14:40-15:25 森山 芳則 (岡山大学)
 小胞性アミノ酸トランスポーターの構造・機能・制御:
 精製タンパクが明らかにする新しいトランスポーター像
 15:25-15:45 休憩
 Session 3 トランスポーターの構造解析 (座長:小村 啓)
 15:45-16:30 山下 敦子 (理研播磨)
 細菌由来アミノ酸トランスポーターの結晶構造解析で探る
 神経伝達物質トランスポーターの輸送機構
 16:30-17:15 村上 聡 (阪大産研)
 多剤排出トランスポーターの結晶構造と薬剤排出メカニズム
 17:15-17:20 クロージング(柳理事長)
 17:30-20:00 懇親会(食堂)

